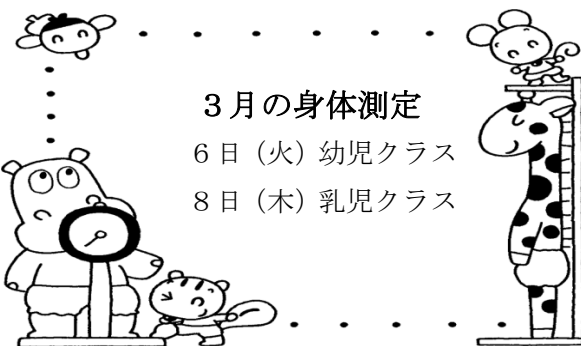




早いもので、今年度も残り1か月となりました。今年の冬はとても寒く、春の訪れが遅いように感じます。桜が早く咲くといいですね。インフルエンザが全国で大流行中ですが、あゆみ保育園でも乳児クラス、幼児クラスとも数名づつ感染者がでています。まだまだ気は抜けない状態です。「手洗い・うがい」をしっかりと実施し、感染予防をしていきましょう。

4月は、きりんさんは、小学校に進学、在園児は進級があります。みんな元気に新年度を迎えられるよう、最後のひと月を大切に過ごしていきましょう。



3月の身体測定

6日(火) 幼児クラス

8日(木) 乳児クラス

<2月の感染症>

●インフルエンザA型	乳児	4名
インフルエンザB型	乳児	1名
	幼児	2名
●流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	幼児	1名
●マイコプラズマ肺炎	幼児	1名

<「けんこうのきろく」について>

2月末に「けんこうのきろく」の冊子をお配りしました。予防接種や病歴などを記入し、内容をご覧になり、3月9日(金)まで事務所にご返却下さい。「けんこうのきろく」は1年に1回、保護者の方に確認して頂いております。きりんさんは、卒園時にお渡しします。

子どもも花粉症に

今年も花粉症の季節がやってきました。関東圏は2月中旬頃より花粉が飛んでいます。大人と同じように子供も花粉症になります。症状としては、「目のかゆみ、くしゃみが止まらない、水のような鼻水が止まらない、まぶたが腫れる」などですが、個人差があります。花粉症かな?と思ったら、病院で治療の相談をしましょう。



<3月3日は耳の日です> 気をつけよう!~耳の病気~

ちょっとした不注意が中耳炎の原因になることもあります。風邪をひいたり鼻水の症状が長引く時は、中耳炎になっていないかどうか注意しましょう。

外耳炎

原因

耳の入り口から鼓膜までの外耳道に炎症や湿しんができた状態。耳あかが原因になることもある。

症状

湿しんができるとかゆい、耳を触ると痛い、発熱やうみが出ることもある。

治療

抗生物質の点耳薬や内服薬を使うと、1週間程度で治まる。

ポイント

外耳炎になったら、耳をむやみに触らないように。

急性中耳炎

かぜが原因で起こることが多く、ウイルスや細菌が中耳に達して炎症を起こした状態。

激しい耳の痛みと、高熱。一時的な難聴・閉そく感がある。耳だれが出たり、乳児の場合は、おう吐や下痢が見られることも。

化膿していなければ、抗生物質の服用で、ほぼ治まる。

繰り返し中耳炎を起こすと、しん出性中耳炎になりやすいので、きちんと治すように。

しん出性中耳炎

中耳内に分泌液がたまった状態。かぜや、急性中耳炎の繰り返しが原因で起こる。

痛みや熱はないが、耳が聞こえにくくなったり、閉そく感・耳鳴りがある。

必要に応じて鼓膜を切開し、たまった液を抜いてようすを見る。分泌液が吸収されて、自然に治ることも多い。

痛みがなく気づきにくいので、耳の聞こえや、様子の変化に注意。

耳の構造

